

四国中央市
ボランティア市民活動アンケート
(団体意識調査) 調査結果

平成30年2月

四国中央市 市民交流課

目 次

1. 調査概要	3
(1) アンケートの実施方法	3
(2) アンケートの有効数	3
(3) 数値やグラフの見方	3
2. 調査結果	4
問1. 団体名を教えてください。	4
問2. 会員の人数は何人ですか。	4
問3. 主にどのようなボランティア活動を行っていますか。	5
問4. ボランティア活動をどのくらいの頻度で行っていますか。	6
問5. ボランティア活動の際、何らかの謝礼、報酬を受けていますか。 ..	7
問6. 年間の活動経費はいくらですか。	7
問7. 主な収入源は何ですか。	8
問8. ボランティア活動をするうえで困っていることはありますか。	9
問9. ボランティア活動をするうえで行政に望むことがありますか。 ...	10
問10. 企業が行っているボランティア活動として、どのような活動を期待し ますか。	11
問11. あなたのボランティア団体では災害時に、どのような活動ができると 思いますか。	12
問12. 特定非営利活動促進法（NPO 法）を知っていますか。	13
問13. 特定非営利活動促進法（NPO 法）による法人格を取得することに 関心がありますか。	13
問14. 特定非営利活動法（NPO 法）による法人格取得のメリットは何だと思 いますか。	14
問15. あなたの団体は、この半年以内で四国中央市ボランティア市民活動セ ンターを利用しましたか。	15
問16. センターを利用した目的は何ですか。	15
問17. センター施設の備品・設備の充実度はいかがですか。	16
問18. センター職員の対応は適切で迅速ですか。	16
問19. センターでは、今後、どのような情報の充実が望まれますか。 .	17
問20. 四国中央市ボランティア市民活動センターの事業についてお尋ねし ます。下記の中で、見た事がある、あるいは利用した事があるものを教えてく ださい。	18
問21. 全体的に見てセンターにどの程度満足されていますか。	19
問22. 来年秋（平成30年10月頃）、市役所の新庁舎建設に合わせて、ボラ ンティア市民活動センターも市民交流棟内にリニューアルオープンしますが、 この事をご存知でしたか。	19
問23. 最後に、四国中央市のボランティア活動の推進について、あなたのご 意見・ご要望・ご提案があれば、ご自由にお書きください。	20

1. 調査概要

(1) アンケートの実施方法

① 調査対象者：ボランティア市民活動センターに登録している団体

190団体

② 配布及び回収：郵送にて配布、回収

③ 実施期間：平成29年10月10日～31日

(2) アンケートの有効数

① 実送付数：153件

② 有効回収数：71件

③ 有効回収率：46.7%

(3) 数値やグラフの見方

① 比率は百分率（パーセント）で表し、小数点以下第1位を四捨五入して算出した。そのため質問によっては各割合を合計しても100%にならない場合がある。サンプル数はnとして表記した。

② 複数回答が可能な質問においては、比率算出の基数はその項目を選択した回答者数（ n_1 、 n_2 …）とし、その質問の回答者数nに対して、どれだけの割合かを算出した。

③ 回答の選択肢などは、省略して表示しているものがある。

2. 調査結果

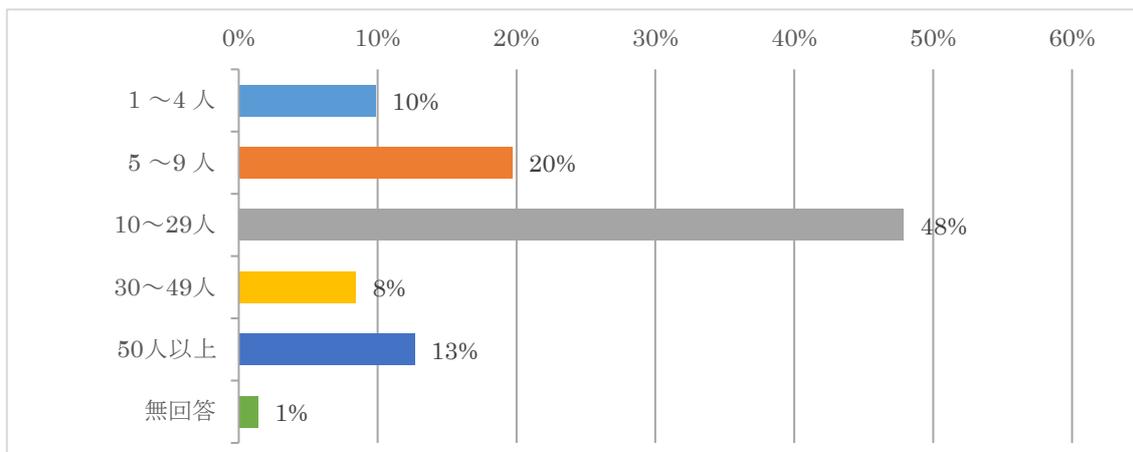
問1. 団体名を教えてください。

※集計結果は省略

問2. 会員の人数は何人ですか。

団体の規模について、「10人～29人」との回答が48%で最も多く、「5～9人」が20%、「50人以上」が13%となりました。

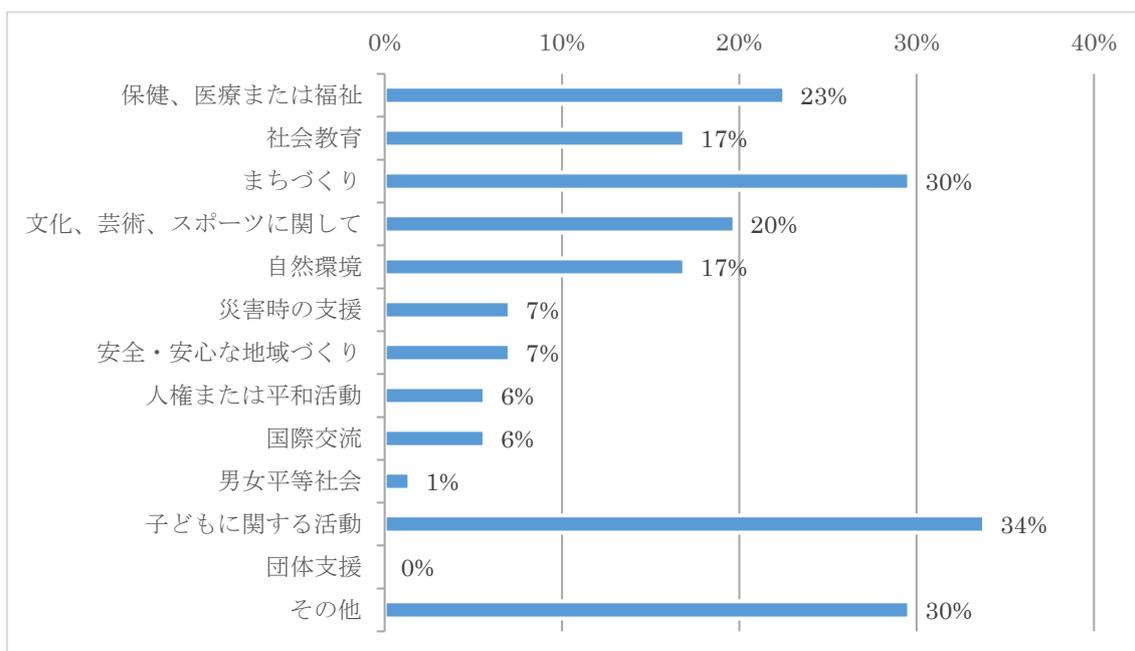
項目	回答数
1～4人	7
5～9人	14
10～29人	34
30～49人	6
50人以上	9
無回答	1
合計	71



問3. 主にどのようなボランティア活動を行っていますか（複数回答可）。

団体の主な活動について、「子どもが健やかに生まれ育つための活動（例 地域の子育ての支援などの活動）」との回答が最も多く34%となり、「住みよい魅力あるまちづくりをしていく活動（例 地域清掃活動など）」及び「その他」の回答が30%となりました。その他の記述では、「地域のボランティア」や「読み聞かせ活動」など、団体の活動に関して具体的な回答がありました。

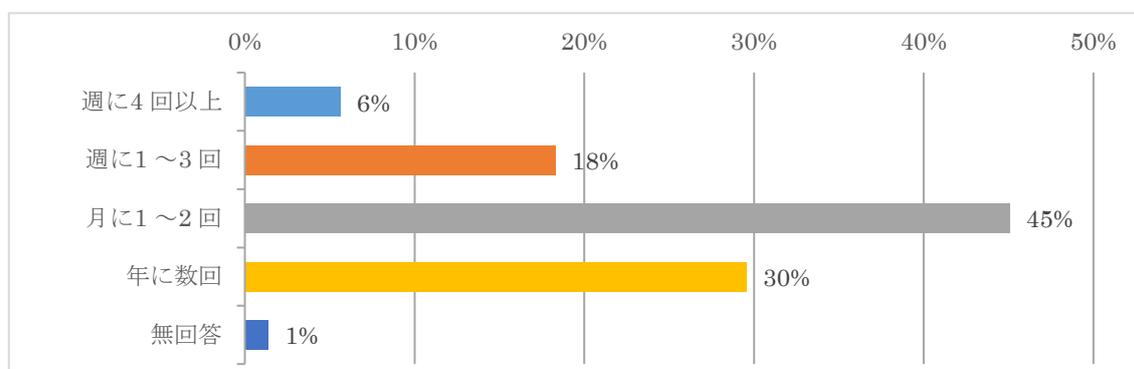
項目	回答数
保健、医療または福祉に関する活動	16
社会教育（学校以外で行われる教育）に関する活動	12
住みよい魅力あるまちづくりをしていく活動	21
文化、芸術またはスポーツに関する活動	14
自然環境を良い状態にしたり、保ったりする活動	12
災害時の支援活動	5
安全・安心な地域を実現するための活動	5
人権の擁護または平和のための活動	4
国際交流・協力に関する活動	4
男女が平等である社会をつくるための活動	1
子どもが健やかに生まれ育つための活動	24
上記の活動を行う団体の運営または活動に関して助言又は援助する活動	0
その他	21



問4. ボランティア活動をどのくらいの頻度で行っていますか。

活動の頻度について、「月に1～2回」との回答が最も多く45%を占めました。「週に4回以上」「週に1～3回」と合わせると、約7割（69%）の団体が月に1回以上活動している状況となりました。

項目	回答数
週に4回以上	4
週に1～3回	13
月に1～2回	32
年に数回	21
無回答	1
合計	71



問5. ボランティア活動の際、何らかの謝礼、報酬を受けていますか。

活動に対する謝礼等について、「受けていない」との回答が最も多く73%となり、一方で「受けとるときもある」との回答が20%となりました。

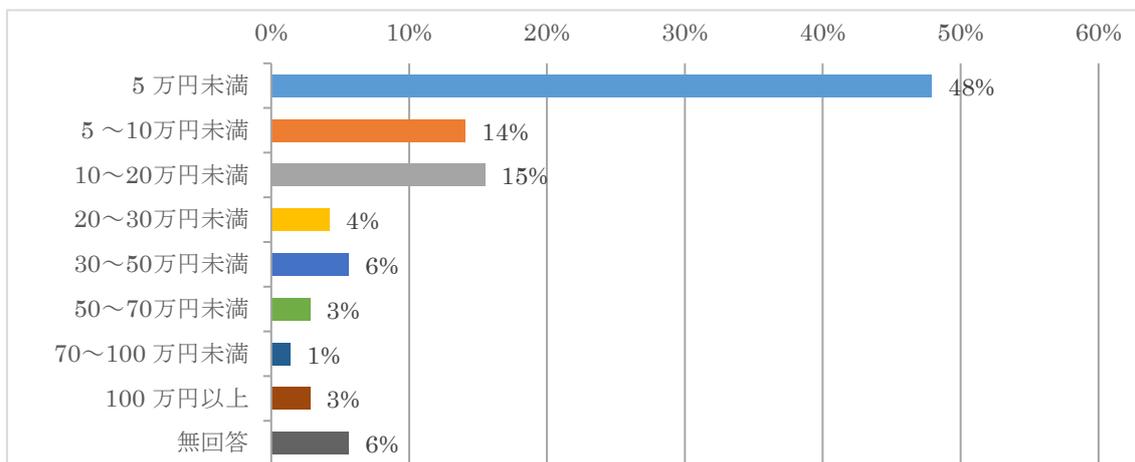
項目	回答数
受けている	4
受けていない	52
受けとるときもある	14
無回答	1
合計	71



問6. 年間の活動経費はいくらですか。

年間の活動経費については、「5万円未満」との回答が最も多く、48%となりました。「5～10万円未満」「10～20万円未満」と合わせると約8割（77%）が年間20万円未満で活動している結果となりました。また、「100万円以上」との回答は3%となりました。

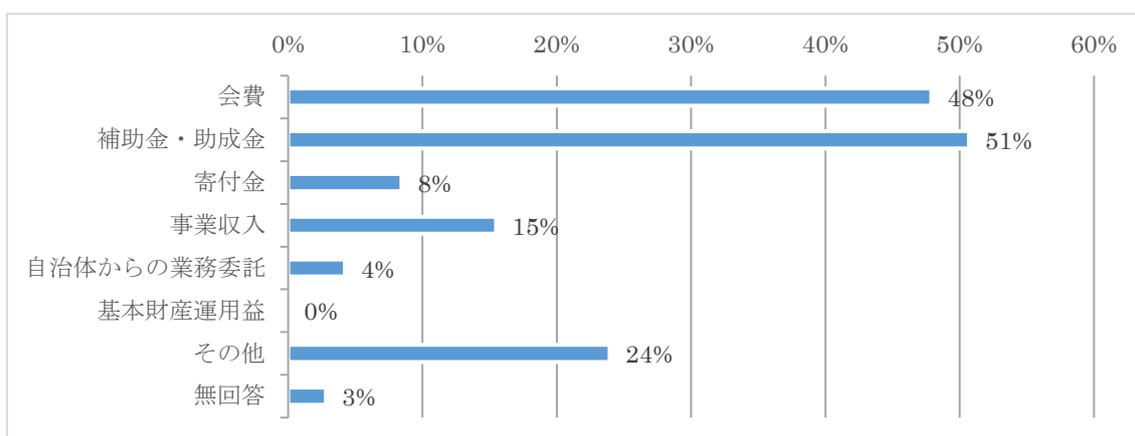
項目	回答数
5万円未満	34
5～10万円未満	10
10～20万円未満	11
20～30万円未満	3
30～50万円未満	4
50～70万円未満	2
70～100万円未満	1
100万円以上	2
無回答	4
合計	71



問7. 主な収入源は何ですか（複数回答可）。

団体の収入源について、「補助金・助成金」との回答が51%、「会費」との回答が48%となりました。その他の記述では、「その都度個人負担」「自費負担」との回答が見られました。

項目	回答数
会費	34
補助金・助成金	36
寄付金	6
事業収入	11
自治体からの業務委託	3
基本財産運用	0
その他	17
無回答	2



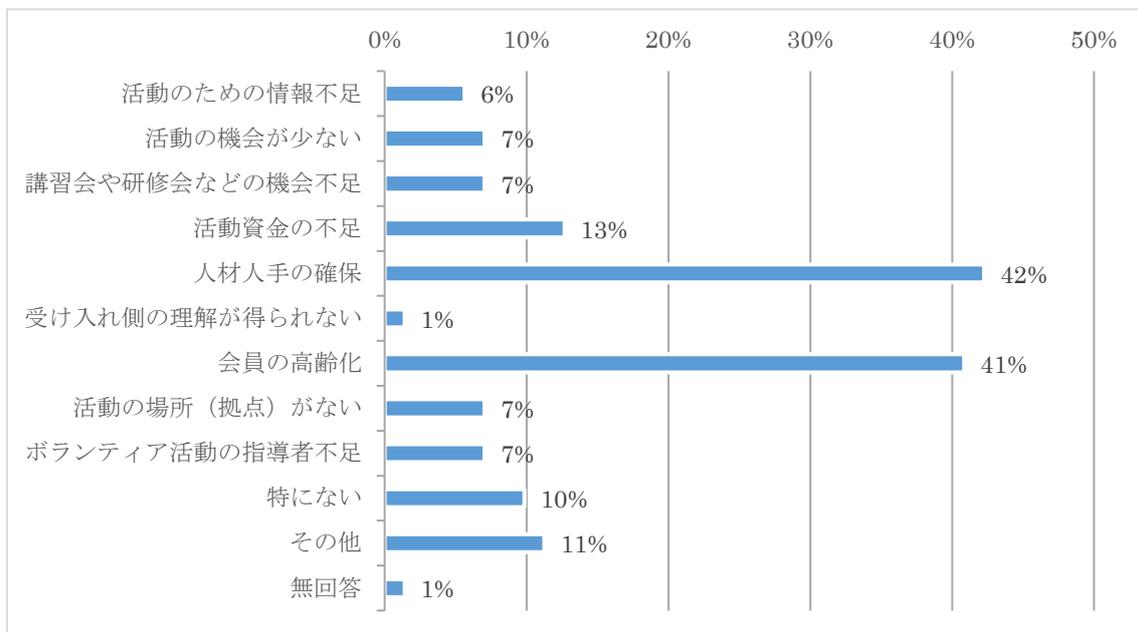
【その他の回答（抜粋）】

- ・ 不要品販売
- ・ 代表が負担
- ・ お金はかかりません
- ・ 自費負担
- ・ 各種助成金 など

問8. ボランティア活動をするうえで困っていることはありますか（複数回答可）。

活動で困っていることについて、人材に関する項目である「人材人手の確保」との回答が42%、「会員の高齢化」との回答が41%となり、2つの回答が突出して多い結果となりました。

項目	回答数
活動のための情報不足	4
活動の機会が少ない	5
講習会や研修会などの機会不足	5
活動資金の不足	9
人材人手の確保	30
受け入れ側の理解が得られない	1
会員の高齢化	29
活動の場所（拠点）がない	5
ボランティア活動の指導者不足	5
特にない	7
その他	8
無回答	1



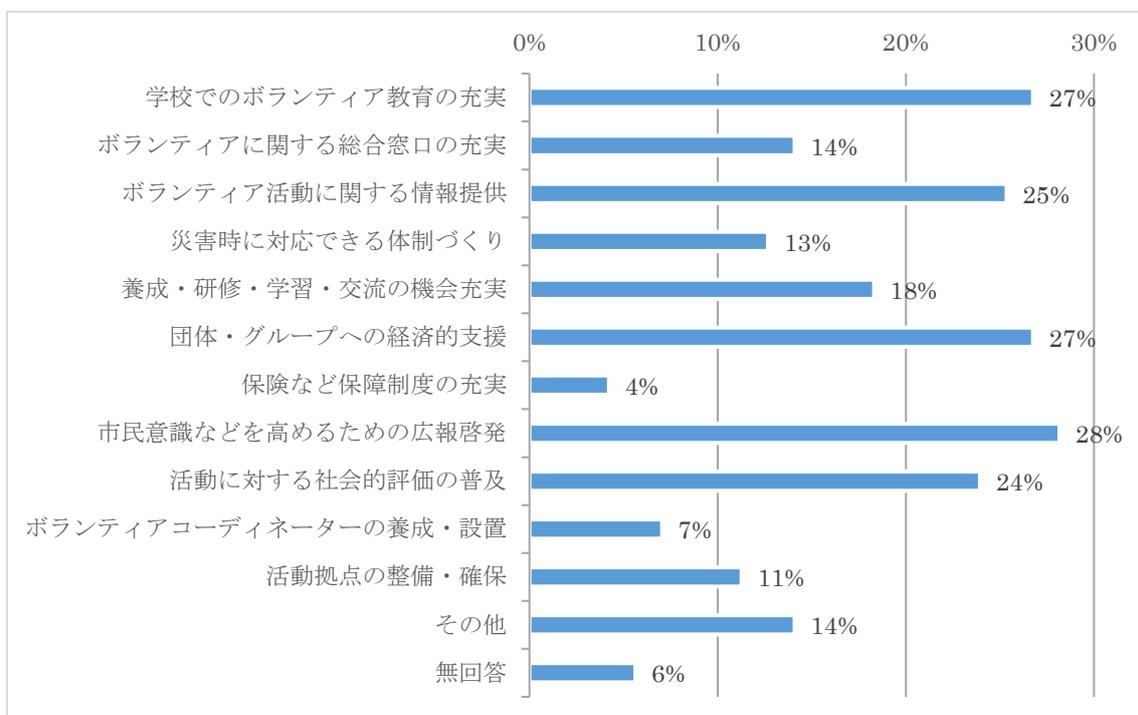
【その他の回答（抜粋）】

- ・行政との関わりがない
- ・中高生へのPR方法
- ・会員間の意識の温度差
- ・活動できるタイミングがあわない など

問9. ボランティア活動をするうえで行政に望むことがありますか（複数回答可）。

行政に望むことについて、突出して回答数が多い項目はなく、望まれる要素は多岐にわたる結果となりました。そのうち、「市民意識などを高めるための広報啓発」との回答が最も多く、28%となりました。

項目	回答数
学校でのボランティア教育の充実	19
ボランティアに関する総合窓口の充実	10
ボランティア活動に関する情報提供	18
災害時に対応できる体制づくり	9
養成・研修・学習・交流の機会充実	13
団体・グループへの経済的支援	19
保険など保障制度の充実	3
市民意識などを高めるための広報啓発	20
活動に対する社会的評価の普及	17
ボランティアコーディネーターの養成・設置	5
活動拠点の整備・確保	8
その他	10
無回答	4



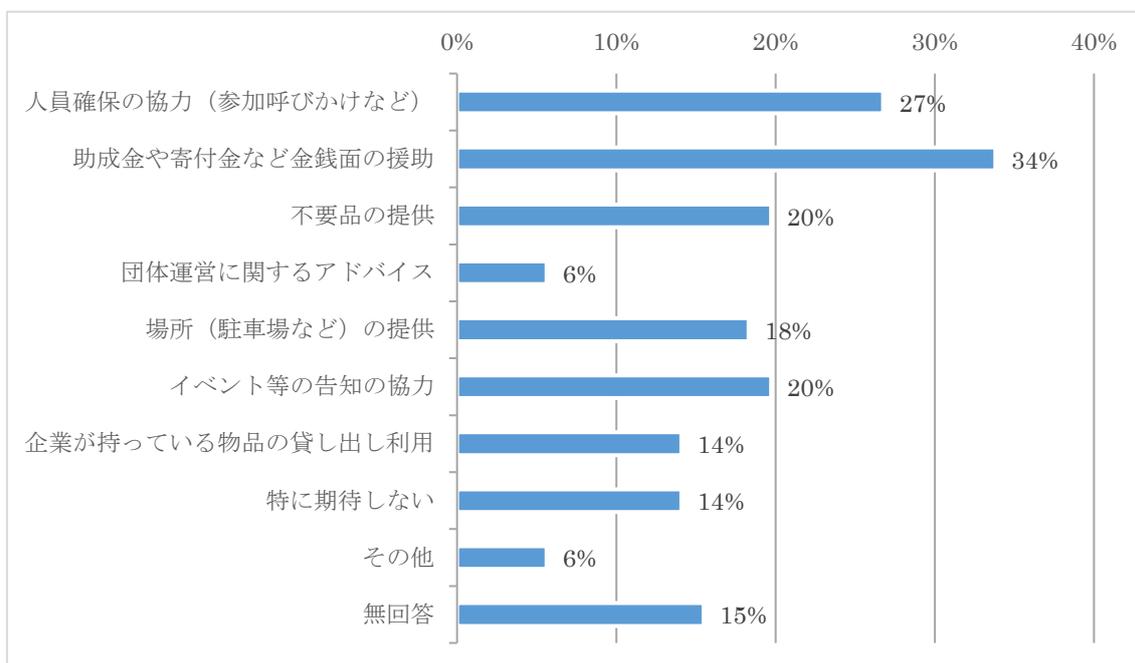
【その他の回答（抜粋）】

- ・提案に耳を傾けてほしい
- ・機材の貸し出し
- ・協力体制
- など

問10. 企業が行っているボランティア活動として、どのような活動を期待しますか（複数回答可）。

企業に期待する活動について、「助成金や寄付金など金銭面の援助」との回答が最も多く、34%となりました。次いで「人員確保の協力(参加呼びかけなど)」との回答が27%となりました。

項目	回答数
人員確保の協力（参加呼びかけなど）	19
助成金や寄付金など金銭面の援助	24
不要品の提供	14
団体運営に関するアドバイス	4
場所（駐車場など）の提供	13
イベント等の告知の協力	14
企業が持っている物品の貸し出し利用	10
特に期待しない	10
その他	4
無回答	11



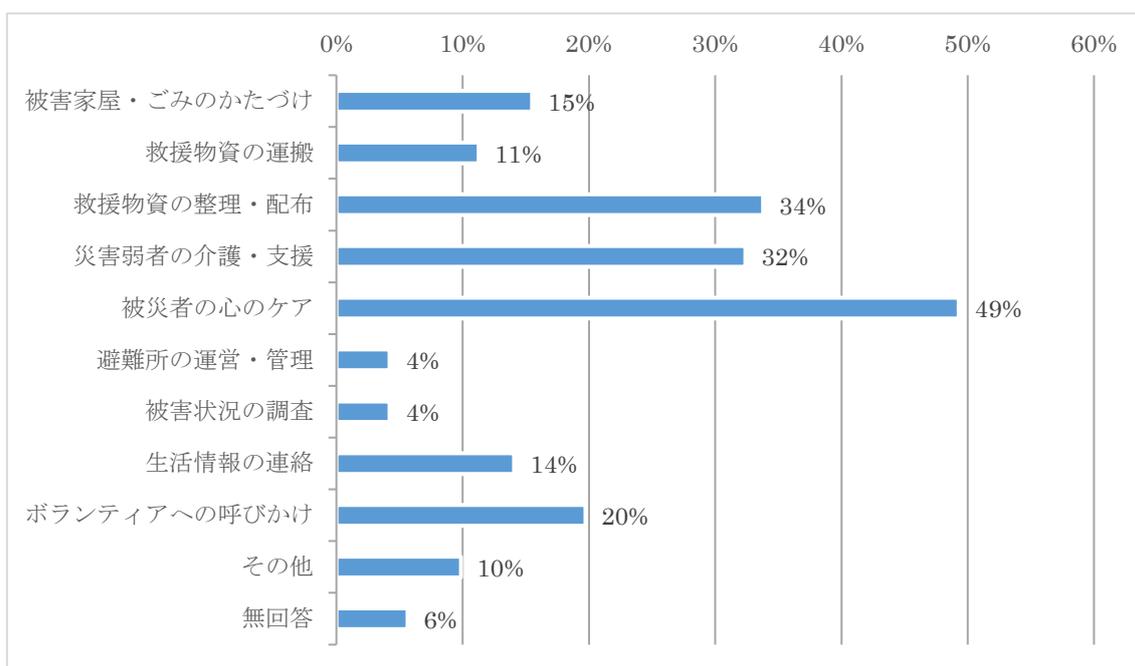
【その他の回答（抜粋）】

- ・イベントなどの共同開催
- ・団体の活動を研修等に取り入れてほしい など

問 1 1. あなたのボランティア団体では災害時に、どのような活動ができると思いますか（複数回答可）。

災害時の活動について、「被災者の心のケア」との回答が最も多く、49%となりました。また、その他の記述では、団体の普段の活動内容を反映した回答がありました。

項目	回答数
被害家屋・ごみのかたづけ	11
救援物資の運搬	8
救援物資の整理・配布	24
災害弱者の介護・支援	23
被災者の心のケア	35
避難所の運営・管理	3
被害状況の調査	3
生活情報の連絡	10
ボランティアへの呼びかけ	14
その他	7
無回答	4



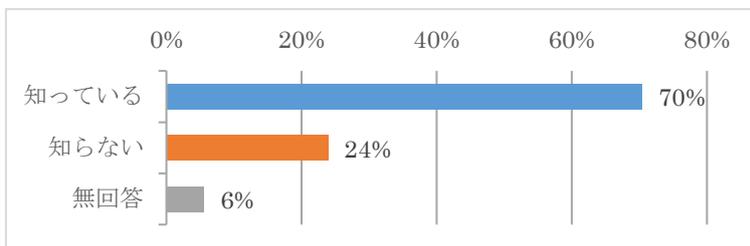
【その他の回答（抜粋）】

- ・ひとり暮らしの高齢者見守り
- ・視覚障がい者支援
- など

問 1 2. 特定非営利活動促進法（NPO 法）を知っていますか。

NPO法の認知度について、「知っている」との回答が70%を占め、活動団体におけるNPO法の認知度が高い結果となりました。

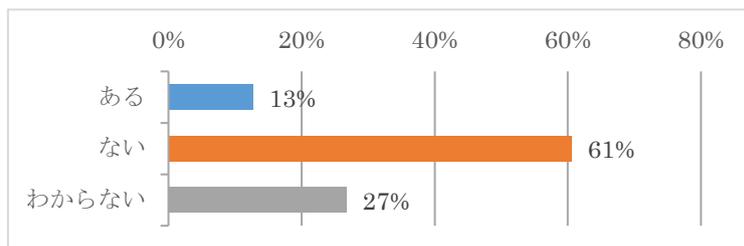
項目	回答数
知っている	50
知らない	17
無回答	4
合計	71



問 1 3. 特定非営利活動促進法（NPO 法）による法人格を取得することに関心がありますか。

法人格取得への関心について、「ない」と回答した団体が61%となりました。一方で、13%の団体（9団体）は法人格の取得に関心がある状況となっています。

項目	回答数
ある	9
ない	43
わからない	19
合計	71

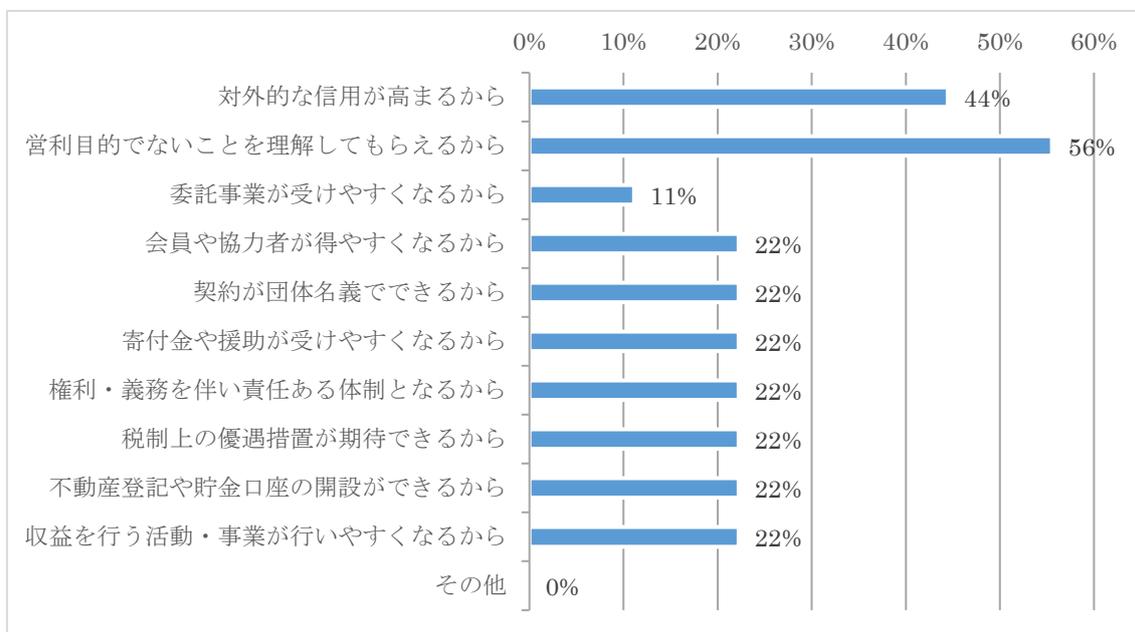


問 1 4. 特定非営利活動法 (NPO 法) による法人格取得のメリットは何だと思えますか (複数回答可)。

[問 1 3 で「(NPO 法人格取得に関心が) ある」と答えた団体 (n=9) のみ回答]

団体が考える法人格取得のメリットについて、全ての項目の回答が 1 割を超える結果となりました。中でも、「営利目的でないことを理解してもらえから」が 56%、「対外的な信用が高まるから」が 44%となりました。

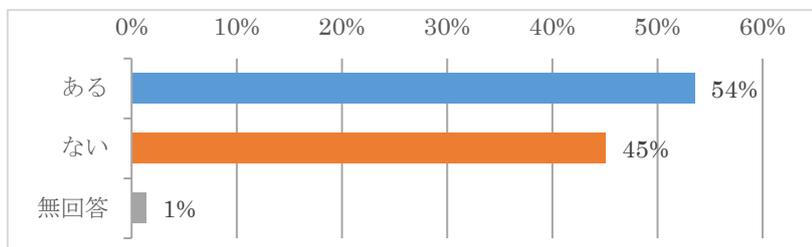
項目	回答数
対外的な信用が高まるから	4
営利目的でないことを理解してもらえから	5
委託事業が受けやすくなるから	1
会員や協力者が得やすくなるから	2
契約が団体名義でできるから	2
寄付金や援助が受けやすくなるから	2
権利・義務が明確となり責任ある体制となるから	2
税制上の優遇措置が期待できるから	2
不動産登記や貯金口座の開設ができるから	2
収益を行う活動・事業が行いやすくなるから	2
その他	0



問 1 5 . あなたの団体は、この半年以内で四国中央市ボランティア市民活動センターを利用しましたか。

直近の半年以内でのセンターの利用について、「ある」との回答が54%、「ない」との回答が45%となりました。

項目	回答数
ある	38
ない	32
無回答	1
合計	71

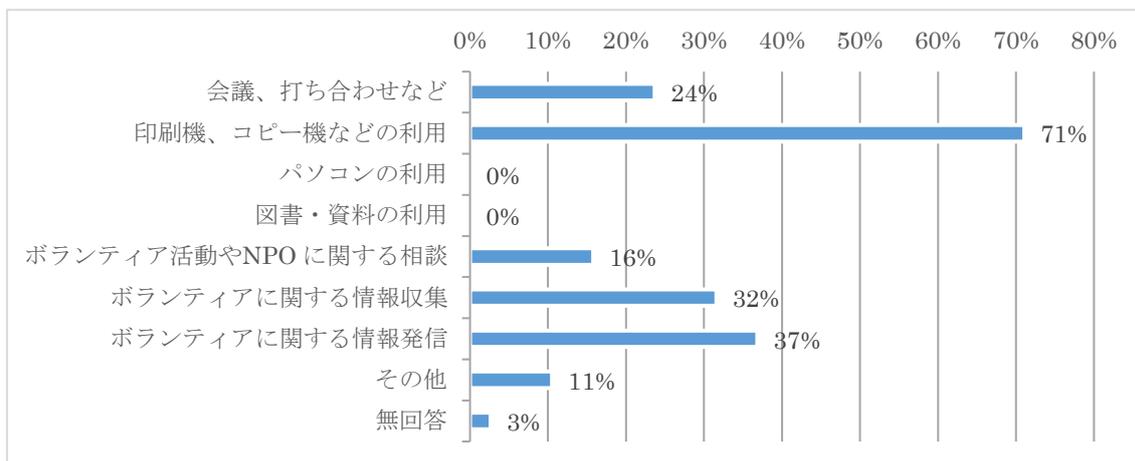


問 1 6 . センターを利用した目的は何ですか（複数回答可）。

[問 1 5 で「（半年以内でセンター利用が）ある」と答えた団体（n=38）のみ回答]

センターを利用した目的について、「印刷機、コピー機などの利用」との回答が最も多く71%となり、次いで「ボランティアに関する情報発信」が37%、「ボランティアに関する情報収集」が32%となりました。

項目	回答数
会議、打ち合わせなど	9
印刷機、コピー機などの利用	27
パソコンの利用	0
図書・資料の利用	0
ボランティア活動やNPO に関する相談	6
ボランティアに関する情報収集	12
ボランティアに関する情報発信	14
その他	4
無回答	1

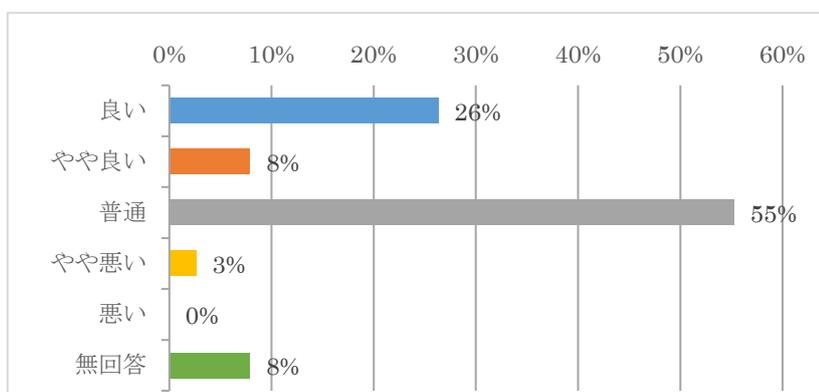


問 17. センター施設の備品・設備の充実度はいかがですか。

【問 15 で「（半年以内でセンター利用が）ある」と答えた団体（n=38）のみ回答】

センター施設の充実度については、「やや悪い」との回答が3%であったものの、「良い」「やや良い」「普通」の回答を合わせると約9割（89%）となり、利用者からの評価は概ね良好な結果となりました。

項目	回答数
良い	10
やや良い	3
普通	21
やや悪い	1
悪い	0
無回答	3
合計	38



【具体的に良い点（抜粋）】

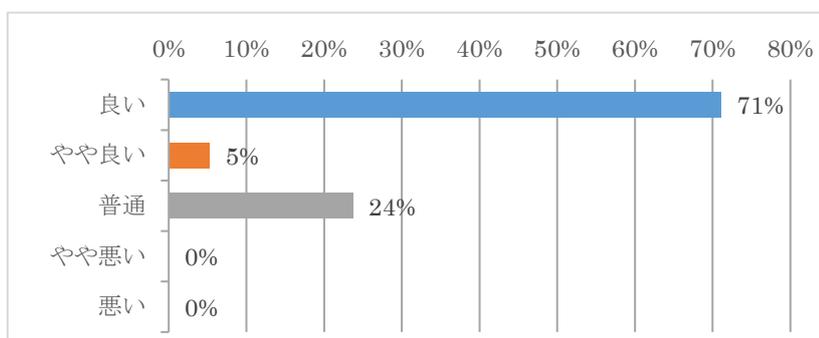
- ・備品や設備面には満足
- ・コピー等が安い
- ・機器利用ができ便利
- ・使い方がわかれば非常に使いやすい など

問 18. センター職員の対応は適切で迅速ですか。

【問 15 で「（半年以内でセンター利用が）ある」と答えた団体（n=38）のみ回答】

センター職員の対応については、「良い」との回答が71%となり、職員の対応の評価は良好な結果となりました。良い点の具体的な記述では、「丁寧な対応」「雰囲気が良い」などの回答がありました。

項目	回答数
良い	27
やや良い	2
普通	9
やや悪い	0
悪い	0
合計	38



【具体的に良い点（抜粋）】

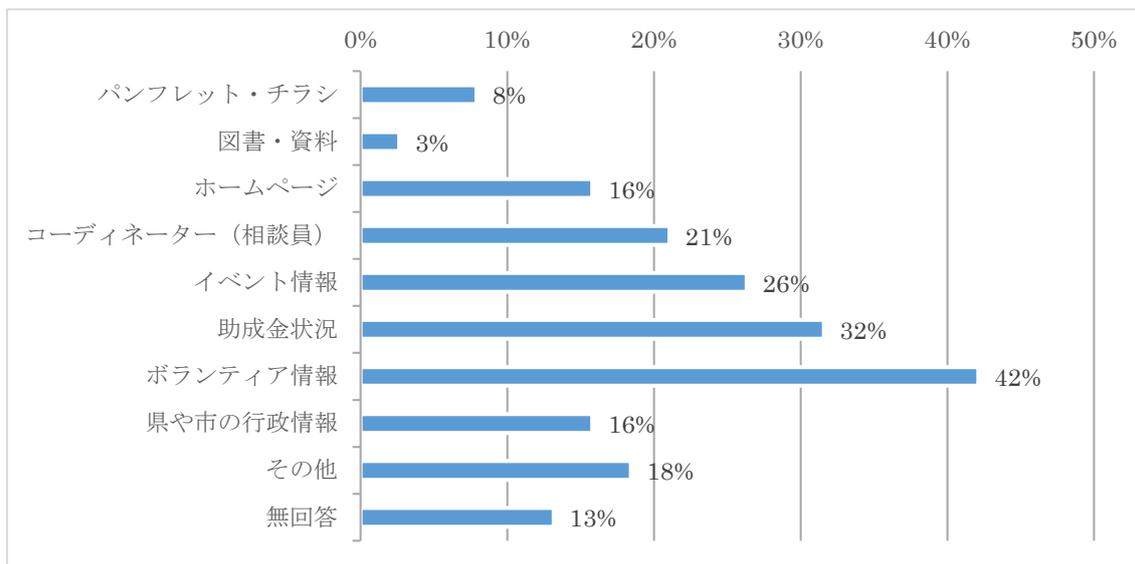
- ・対応が気持ちが良い
- ・電話の対応が丁寧
- ・センターの雰囲気が良い
- ・相談に乗ってもらえる など

問19. センターでは、今後、どのような情報の充実が望めますか（複数回答可）。

[問15で「（半年以内でセンター利用が）ある」と答えた団体（n=38）のみ回答]

センターに望む情報について、「ボランティア情報」との回答が最も多く、42%となりました。次いで「助成金状況」が32%、「イベント情報」が26%となりました。その他の記述では、機材の充実や会議室などの活動場所に関する要望がありました。

項目	回答数
パンフレット・チラシ	3
図書・資料	1
ホームページ	6
コーディネーター（相談員）	8
イベント情報	10
助成金状況	12
ボランティア情報	16
県や市の行政情報	6
その他	7
無回答	5

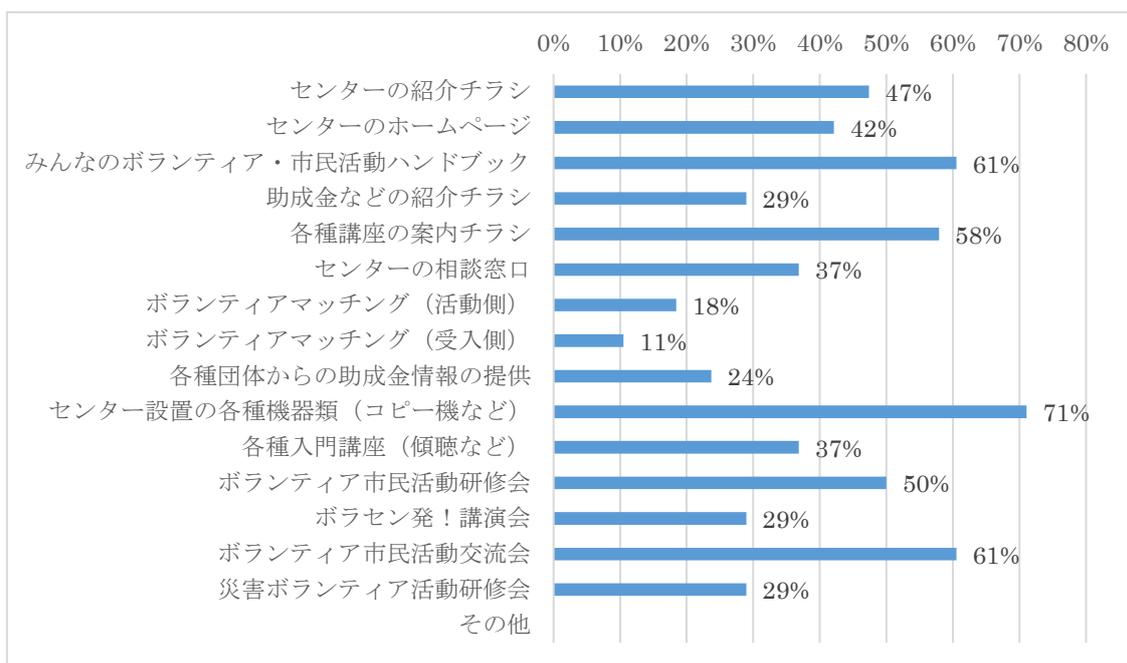


問20. 四国中央市ボランティア市民活動センターの事業についてお尋ねします。下記の中で、見た事がある、あるいは利用した事があるものを教えてください（複数回答可）。

[問15で「（半年以内でセンター利用が）ある」と答えた団体（n=38）のみ回答]

「センター設置の各種機器類（コピー機、ロッカー、プロジェクター、パソコンなど）」との回答が71%と最も高く、続いて案内チラシやハンドブック、ボランティア交流会との回答が多い結果となりました。

センターの紹介チラシ	18件 47%	センターのホームページ	16件 42%	みんなのボランティア・市民活動ハンドブック	23件 61%
助成金などの紹介チラシ	11件 29%	各種講座（研修やセミナーなど）の案内チラシ	14件 58%	センターの相談窓口（活動の相談や問い合わせなど）	14件 37%
ボランティアマッチング（活動側）	7件 18%	ボランティアマッチング（受入側）	4件 11%	各種団体からの助成金情報の提供	9件 24%
センター設置の各種機器類（コピー機、ロッカー、プロジェクター、パソコンなど）	27件 71%	各種入門講座（傾聴、手話、点字、要約筆記、朗読など）	14件 37%	ボランティア市民活動研修会	19件 50%
ボラセン発！講演会	11件 29%	ボランティア市民活動交流会	23件 61%	災害ボランティア活動研修会	11件 29%
その他	—				

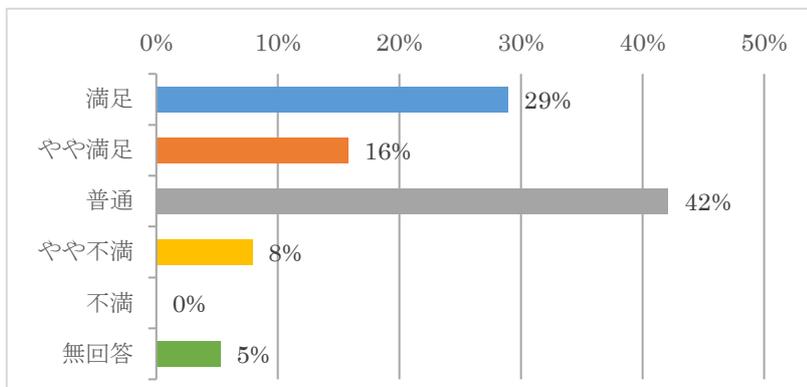


問 2 1. 全体的に見てセンターにどの程度満足されていますか。

[問 1 5 で「(半年以内でセンター利用が) ある」と答えた団体 (n=38) のみ回答]

センターの満足度については、「満足」「やや満足」「普通」を合わせると約 9 割 (87%) となり、団体利用者からの評価はおおむね良好な結果となりました。

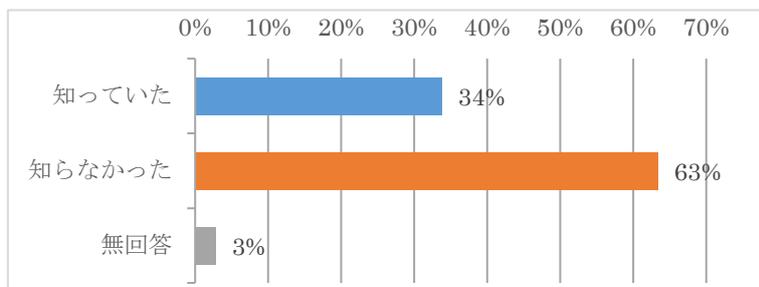
項目	回答数
満足	11
やや満足	6
普通	16
やや不満	3
不満	0
無回答	2
合計	38



問 2 2. 来年秋 (平成 30 年 10 月頃)、市役所の新庁舎建設に合わせて、ボランティア市民活動センターも市民交流棟内にリニューアルオープンしますが、この事をご存知でしたか。

センターのリニューアルオープンについては、「知っていた」との回答は 34% となり、「知らなかった」との回答が約 6 割 (63%) となりました。

項目	回答数
知っていた	24
知らなかった	45
無回答	2
合計	71



問 2 3. 最後に、四国中央市のボランティア活動の推進について、あなたのご意見・ご要望・ご提案があれば、ご自由にお書きください。

■提案

- 一般に今のボランティア活動は個人登録が主であるが、これからのボランティア活動は広く一般企業に働きかけ、企業に協力を求め、その企業内の社員等から選出してもらい、企業単位のボランティア活動を推し進めていくようにされてはいかがでしょうか。
- 広くボランティアを募る為、センターが主導して行事等を開催してはどうか（もちろん、グループにも助けてもらう）。例）○月○日○時～○○場所にてゴミ拾い etc。豊岡公民館で今秋行われるセミナーを、ボランティアグループと共に、定期的で開催し、市民にセンターを知ってもらう。等。

■要望

- 団体の活動として、学校や施設で実演、講演したいが、希望してくれる所を探して、紹介して欲しい。
- イベントなど団体の広報をするための発信用のフォーマットが欲しい（メディア、ホームページ、チラシに対して、書き込みやすいものでわかりやすいもの）。
- ボランティア活動をするにあたり、「何かの役にたたい」という思いがあつての活動なので、市や人々が、今、何が必要かが伝わってくると、活動しやすくなる。
- 書画カメラの購入をお願いします。
- 他の団体が実際にどのような活動、及びボランティアをしているかを、封書などで知らせてくれると勉強になります。
- 研修会などが平日の昼間に多いので、夜や土日に開催してくれると、参加しやすいと思う。
- 日頃目に見えるかたちで活動している情報や、今後の予定が知る事が出来るボランティア市民活動センターになれば良いと思う。
- 中学校や高校へボランティア活動内容を生徒向けに話しに行きたい（学生のボランティアを多くしたい為）。
- 各ボランティア団体に若い方が不足しているように思います。もっと推進したり市民へ情報提供したり啓発がほしいと思います（特に若者へ）。
- もう少し活動の場が増える事を希望しています。
- 新しいボランティア市民活動センターは、明るく入りやすい雰囲気のところになりますように。
- 開始時間 10：00 ですが、9 時くらいからだど利用しやすい。
- 福祉関係のボランティアについて若い人達の興味・関心が薄くなってきているようです。小・中学校でこのようなボランティアに少し触れる事で、将来関わりやすくなるのではと思います。また、現在のボランティアメンバー達は高齢化しており、移動したり集まったりすることなど、近い場所に活動拠点があれば良いと思います。本庁 1 か所だけでなく、川の江や土居などにもボランティアルームを置いていただくよう希望します。
- 四国中央市をもっと住みやすい環境づくりをするために、清掃活動などのボランティアを増やして欲しいと思っております。ご検討よろしくお願い致します。

- 地域の中で、自主的に活動されている個人・団体の情報を収集し、もっともっと沢山の登録者をつのり、活動につなげて頂き、ボランティアの喜びを感じて頂ける機会の提供をお願いしたいです。
- 文化・社会などに関する予算不足を理由にこの種の活動が削減されつつあります。文化ホールとか市民交流棟もいいのですが、ハード面だけでなく、ソフト面で予算削減しないようお願いしたい。

■その他

- ボランティア行事保険の手続きの仲介、イベント時のボランティア要員の確保、コピー、印刷の費用で負担してもらえる部分があるのが、ありがたい。
- ボランティアと企業（営利）活動のはざまで、行き詰っています。個人のボランティアの思いと会員の思いがちぐはぐな時があり、個人の思いで事を進めるのが慎重にならざるを得ません。
- 管轄が変わった事で変わった事が今一つ理解出来ていません。
- 私達グループはシニアの方が中心ですので、皆が仲良くわきあいあいを主眼に毎月楽しみにしているようです。健康で自分の許す範囲でボランティア活動ができることがベターと思っていますので、よろしく願いいたします。
- ボランティアグループの人達の高齢化がすすみ、若い人の加入が少ないのですが、地域で出来る事をして地域に住む高齢の方や独り暮らしの方が少しでも住みよいと感じる地域にしたいと思っています。
- （団体名）に入会している人達はボランティア精神に長けている人達ばかりなのでかけもち活動をしているので、思うように人数が揃わない事とみなさん高齢になってきたのがいつまで続けられるかが当面の心配事です。
- 土居ボランティアグループ代表者会にも参加させて頂いていますが、土居町地区内でも人数、活動内容も全く違います。意識も違います。私共平成2年から地区社協の活動のお手伝い（サロン運営、ひとり暮らし見守り、ふれあいの集い、友愛訪問等）が主たる活動です。各自治体から1名～2名と呼びかけて始まった活動ですが、今、各自治会からと呼びかけても参加して下さる人が集まってきません。それが一番の問題かもしれません。乱筆お許しくださいませ！
- 高齢者人口がますます増える中、たくさんの方々が自分にできるボランティアを見つけて人とつながりながらみんなが生き生きと過ごせる社会になればいいと思います。人のお役に立つことが自然にでき、ぼくや私に任せてといった子供さんたちが周囲の大人に見守られながら体験を通して育ってくれることを願っています。
- 自分達の出来る事をしてみようと思っています。会員も高齢になっていますので、いつまで協力できるか心配しています。
- 会員が高齢化なので人数が少なくなり、運営が大変になってきました。20年間で過ぎまして、20名～今は集まりますが平成9年頃は36名～40名でしたが家族の方にも色々有りまして。
- 地域ボランティアとして社協などが行う事業のお手伝いや、地域の行事に参加・協力する活動、又、独自の施設訪問やその他の奉仕活動を行っていますので今の形態が最良だと思っています。

○環境教育の一環として、川之江小学校や、南小学校でホタルのお話をさせていただきました。

トンボやメダカも減って自然との触れ合いが少なくなっています。活用出来る方法を検討したいです。私達は金生川上流の金田地区でホタルの保護活動をしています。今年は「第5回みんなでホタルを見よう会」を開きました。多くの方に来て頂きました。毎年、ホタルを見に来てくれる子供達がホタルを手ののせて、親達がスマホに写して帰ります。ホタルと子供達との触れ合いが出来るのが特徴です。この場所は比較的安全にホタルを見る事が出来ます。去年は、中年の夫婦が、これなら親にも見せられると言って、80代の親をつれに帰りました。車イスもOKのホタルを見られる場所にはないでしょう。何よりも自然のホタルがこんなにたくさん飛び交う場所は希少です。街からは近くホタルは夜の鑑賞ですが足元が良く、お年寄りも子供達も安心して見たり触れ合ったりする事が出来ます。隣接して公園があります。ホタル公園として整備される事を願っています。行政のご協力お願い致します。

○私達の団体は主に高齢者の認知症予防や孤立化を防ぐための活動をしています。市の高齢介護課（包括支援センター）が全く協力していただけません！！交流課は大変頼りになりますが！！